

色材協会誌投稿規程

(平成23年11月28日改訂)

1. 募集する原稿

色材協会誌は、塗料、顔料、印刷インキ、化粧品などの色材に関する科学・技術、塗装およびその下地処理をふくむ塗装の科学・技術、気液固体系における分散および界面制御の科学・技術、さらに色材に関連する新たな応用に関する科学・技術に関する論文および解説等を広く募集する。

2. 著作権

本誌に掲載した記事等の著作権は本会に属する。

3. 投稿原稿の種類

研究論文、技術論文、総合論文、ノート、速報、総説、資料、解説、講座、サロンなどとする。

4. 投稿の方法

4.1 原稿は、この規程および別に定めた執筆の手引きによって書き、原稿第1枚目左肩に掲載を希望する原稿の種類(3を参照)を書く。投稿は電子投稿システムで受け付ける(<https://www.editorialmanager.com/shikizai/>)。郵送による投稿の場合、原稿は1部を提出のこと。ただし、欧文による投稿は別に定める規程による。なお、執筆の手引きを必ず参照すること。

また、原稿の掲載が決定した段階で、郵送による投稿の場合、原則として、電子媒体(CD、DVD等)にその原稿(本文、英文要旨、キーワード、和文要旨、図・表(図はとりこめる場合のみで可)および図表説明一覧)を収録して送付すること。なお、原則として提出された原稿および電子媒体は返却しない。

4.2 郵送による投稿の場合、和文の要旨・本文および英文要旨は原則としてワープロソフト(MS-Word等)を用いてA4用紙(縦置き)に印字する。なお、A4用紙(28字×34行)約3枚で刷り上がり1ページに相当する。

4.3 郵送による原稿提出の際、投稿者は所定の投稿カードを色材協会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、編集室宛に提出すること。

4.4 投稿原稿の受領日は、本会に到着した日とする。

5. 研究論文・技術論文に関する規程

研究論文は、印刷物として未発表のもので、色材(塗料・顔料・印刷インキ・化粧品など)や界面制御、ならびにこれらに関連し、独創的で価値のある結論もしくは事実を含んでいること。

技術論文は、印刷物として未発表のもので、色材(塗料・顔料・印刷インキ・化粧品など)や界面制御、ならびにこれらに関連し、実用に役立つ価値あるデータ、現象あるいは考え方を含んでいること。

研究論文および技術論文は、担当編集委員および査読者による厳正な審査を経て、最終的に編集委員会が受理を認めた場合に掲載する。

5.1 和文要旨・英文要旨

和文要旨は、著者が強調したい要点を含めて研究概要がわかるように400字以内で記述する。英文要旨は、和文要旨と同様の内容を含み200語以内に要約したものとする。

5.2 キーワードを和文要旨および英文要旨に続けて5項目以内、それぞれ指定する。

5.3 本文は、次の項目にまとめて書くことが望ましい。緒言・理論・実験・結果・考察・結論・引用文献、ただしこのうち必要のない項目は省いてもよい。なお、図・表の説明は英文で記入する。

5.4 本文は原則として刷り上がり5ページ以内とする。

6. 総合論文に関する規程

色材や界面制御、ならびにこれに関連した事項で、総合的に幅広く記述されており、公表された論文などの引用に基づいて考察され、かつその内容が個々の研究、成果だけでは得られない価値ある結論を導いていること。

総合論文は、担当編集委員および査読者による厳正な審査を経て、最終的に編集委員会が受理を認めた場合に掲載する。

6.1 和文要旨は、著者が強調したい要点を含めて研究概要がわかるように400字以内で記述する。英文要旨は、和文要旨と同様の内容を含み200語以内に要約したものとする。

6.2 キーワードは5.2に準ずる。

6.3 本文の書き方は特に規程しないが、緒言・理論・実験・結果・考察・結論・引用文献がわかるように記述する。ただし、このうち必要のない項目は省いてもよい。なお、図・表の説明は英文で記入する。

6.4 本文は原則として刷り上がり6ページ以内とする。

7. ノートに関する規程

断片的な研究であっても、新しい事実や価値のあるデータ、あるいは考察、または実験装置の考案ないし技術的に価値のある提案、意見などを含んでいること。

ノートは、担当編集委員および査読者による審査を経て、編集委員会が受理を認めた場合に掲載する。

7.1 和文要旨・英文要旨

原則、5.1に準ずる。ただし、和文要旨は200～300字程度とする。英文要旨は100語以内に要約したものとする。

7.2 キーワードは5.2に準ずる。

7.3 本文の書き方は、5.3の研究論文・技術論文に準ずる。

7.4 本文は原則として刷り上がり3ページ以内とする。

8. 速報に関する規程

速報は独創的な研究で、価値ある結論を含み、特に速やかに発表する必要があること。また、同内容をさらに充実させて研究論文・技術論文として投稿することができる。

速報は、担当編集委員および査読者による審査を経て、最終的に編集委員会が受理を認めた場合に掲載する。

8.1 和文要旨・英文要旨

原則、5.1に準ずる。ただし、和文要旨は200～300字程度とする。英文要旨は100語以内に要約したものとする。

8.2 本文の書き方は特に規程しないが、目的（緒言）、方法、結果（考察）がわかるように記述する。ただし、英文題目とキーワード（5.2に準ずる）は必要。また、図表の説明は英文とする。

8.3 本文は刷り上がり2ページ以内とし、これを超えてはならない。

8.4 原則として原稿受領後3カ月以内に掲載する。

9. 総説に関する規程

色材ならびにこれに関連した事項で、総合的に幅広く記述されており、かつその内容が公表された論文などの引用に基づいて考察され、科学的論拠があること。総説は査読者または担当編集委員の内容確認を経て掲載する。

9.1 和文要旨・英文要旨

原則、5.1に準ずる。ただし、和文要旨は200～300字程度とする。英文要旨は100語以内に要約したものとする。

9.2 キーワードは5.2に準ずる。

9.3 本文は原則として刷り上がり5ページ以内とする。

10. 資料および解説に関する規程

色材ならびにこれに関連した事項で、種々のデータ・結論・事実などについて、公表された印刷物などを引用して記述してあること。

資料および解説は、査読者または担当編集委員の内容確認を経て掲載する。内容によって資料あるいは解説として掲載する。

10.1 和文要旨・英文要旨

原則、5.1に準ずる。ただし、和文要旨は200～300字程度とする。英文要旨は100語以内に要約したものとする。

10.2 キーワードは5.2に準ずる。

10.3 本文は原則として刷り上がり5ページ以内とする。

11. 講座に関する規程

色材ならびにこれに関連した事項で、編集委員会が企画した主題に沿って、種々のデータ・結論・事実などについて公表された論文・印刷物などを引用し、その分野を広範囲に理解できるような内容を解説的に記述してあること。

講座は、査読者または担当編集委員の内容確認を経て、最終的に編集委員会が講座としてふさわしいと認めた場合に掲載する。

11.1 和文要旨・英文要旨

原則、5.1 に準ずる。ただし、和文要旨は200～300字程度とする。英文要旨は100語以内に要約したものとす。

11.2 キーワードは5.2 に準ずる。

11.3 本文は原則として刷り上がり5ページ以内とする。

12. サロンおよび部会研究会活動状況報告等に関する規程

色材ならびにこれに関連した事項で、読者に対して有用な内容とし、この趣旨に沿った随筆的記事、および色材協会の催し物の状況的報告、各研究部会の活動状況報告、海外の学会・研修会・視察などの参加記、その他、編集委員会が認めた場合に掲載する。

12.1 本文は原則として刷り上がりサロン3ページ以内、部会研究会活動状況報告2ページ以内とする。なお、できるだけ写真などを掲載するのが好ましい。

13. 新製品新技術紹介コーナーに関する規程

維持会員各社に新しい製品や技術の紹介の場を無償で提供することを目的とし、読者に対して有益な内容であると編集委員会が認めた場合に掲載する。ただし、原則として刷り上がり2ページ以内とする。

14. 企業探訪および大学研究所めぐりに関する規程

維持会員各社の紹介記事、会員の所属する大学および公設研究所等の紹介記事を提供する。読者に対して有益な内容であると編集委員会が認めた場合に掲載する。ただし、原則として刷り上がり2ページ以内とする。

15. 原稿の審査・再提出

15.1 投稿原稿の採否は、編集委員会が決定する。編集委員会は投稿原稿について訂正を求めることがある。

15.2 受理された原稿は編集委員会の承諾なしに変更を加えてはならない。

15.3 訂正を求められた原稿は、1カ月以内に再提出する。返送の日から2カ月以内に再提出しない場合には、投稿の意志がないものとして処理することがある。なお、速報の場合の再提出期限は返送後、1週間以内とする。1週間を過ぎて再提出された場合は、再投稿されたものとし、受領日を変更する。

16. 掲載原稿の種類変更

編集委員会の判断により、著者の承諾を得た上で、掲載原稿の種類を変更することがある。

17. 引用（転載）許諾請求手続き

他の著作物から引用（転載）するときは、許諾請求の手続きを完了していることを証明するために提出原稿には下記の書類を添付する。また、許諾が有償の場合は著者の負担とする。

(1) 引用図（写真を含む）および表のリスト

(2) 原著者および原典出版者名（引用許諾権利保有者）およびそれらの連絡先の一覧表

(3) 引用許諾文書の写し

18. 著者校正

著者校正は1回だけとする。この際、印刷上の誤り以外の字句の修正・加除は原則として認めない。また、このとき原稿は送付しないため、原稿の写しを用意しておくものとする。校正原稿を受け取り後1週間以内で返送することとする。期限に遅れた場合には、編集室の校正をもって校了とすることがある。

訂正は赤色で行い、周囲の余白に大きく引き出して明瞭に記入する。

18.1 製版後に図を訂正する場合、実費を申し受ける。

18.2 著者が希望し、編集委員会が妥当と認めた場合、図（写真を含む）、表をカラーで掲載する。

ただし、掲載にかかる実費は著者負担とする。また、色校正を独自に希望する場合も、掲載にかかる実費は著者負担とする。

18.3 著者が希望し、編集委員会が適当と認めた場合、J-STAGEでのグラフィカルアブストラクトに、図表中から原則1点を、カラーで掲載することができる。ただし、色校正は編集委員会に一任するものとする。

19. 別刷

19.1 研究論文、技術論文、総合論文、ノート、速報については必ず最低50部購入するものとする。

19.2 別刷の購入は、著者校正時に申し込むこと。ただし、実費を申し受ける。

19.3 別刷り料金について、会員、非会員の別および原稿種別によって、別途定められた金額は異なる。なお、会員とは本協会の名誉会員、正会員および学生会員、およびCSI関係学協会（FATIPEC, FSCT, OCCA, SCAA, SCANZ, SLF）の会員である。（別紙 別刷り料金表）

20. 会誌発行後の正誤訂正

20.1 印刷上の誤りについては、著者の申し出があった場合に限り掲載する。

20.2 印刷上の誤り以外の訂正・加除などは原則として取り扱わない。ただし著者の申し出があつて編集委員会がそれを適当と認めた場合に限り掲載する。

21. 規程の改廃

この規程の改訂、廃止は、編集委員会で審議の上、理事会で承認し、決定する。

付則

この規程は平成23年11月28日より施行する。

色材協会誌執筆の手引き

1. 執筆の準備

- 1.1 必ず「色材協会誌投稿規程」を読んでから執筆する。
- 1.2 最近の色材協会誌の体裁に従い、特に同じような論文や資料を参考にして書く。

2. 原稿の書き方

2.1 題目, 著者名, 所属等

2.1.1 原稿用紙の第1ページ目に題名, 英文題名, 著者名, ローマ字著者名, 所属機関名, および所在地を書く。続報の場合には脚注に前報を雑誌名, 巻 [号], ページ (西暦年) の順に書く。

研究論文, 技術論文, 総合論文, ノートおよび速報の英文要旨には上記を英文で記載する。

2.1.2 著者名のローマ字はヘボン式とし, 名, 姓の順に表記する。特に訓令式その他でなくてはならない場合には, 投稿時にその旨を書面で申し出るものとする。

2.2 書式

2.2.1 原稿は原則として黒色で印字する。

2.2.2 印字する場合, 和文については28字×34行とし, 右側に5 cm位の余白をとる。英文については上下左右の余白を3 cm程度とり, 原則として2行送り (ダブルスペース) で印字する。右側の余白には, 図・表の入る位置を指定する。

2.3 漢字, かな

漢字は常用漢字を用い, かなはひらがなを用いる。ただし, 日本語化した外来語はカタカナ書きとする。また外国の地名, 人名, 外国書籍名などは原則として原綴り (できるだけ英綴り) を使用する。

2.4 術語

使用する術語は原則として, 文部省編「学術用語集」, 日本化学会編「化合物命名法」, 日本化学会編「化学便覧」やJIS (いずれも最新刊版とする) に従う。

2.5 章, 節, 項等の表記

1. 2. 3. (章) (2行どり, 中央に)。1.1, 1.2, 1.3 (節) (1行どり, 左端に)。1.1.1, 1.1.2, 1.1.3 (項) (1行どり, 左端に)。a. b. c. (小見出し) (左端2字あけて本文を続ける)。(i), (ii), (iii) (小見出し) (左端2字あけて本文を続ける)。

2.6 図表

2.6.1 本文中では右図, 次表, 上式などの誤りやすい表現を避け, 必ず表-1, 図-1, 式-3のように具体的に明記する (英文の場合は, Table 1, Fig. 2のように)。

2.6.2 図表は1枚ごとに用紙右肩に, 原稿題名, 著者名を書く。図面・原図は原則として1/2位に縮尺してそのまま製版するので, 2倍の大きさに書く (研究論文, 技術論文, 総合論文ノートおよび速報に関して, 原図がそのまま印刷できない場合は版下製作費を申し受ける)。刷り上がりの寸法基準は左右8 cm。

図中の記号はなるべく簡単なもの (○, △, □, ◇, ●, ▲, ■, ◆など) を使い, 複雑な記号 (たとえば ×, ★, ※, ▣など) の使用は避ける (図面原稿の書き方参照のこと)。

2.6.3 表の説明は表の上を書く。図と写真の説明は, 別紙に Figure Caption としてまとめる。

2.7 単位, 記号

2.7.1 単位, 記号などは国際単位 (SI) に従うこと。色材協会ホームページを参照。また文中の分数式は $\frac{a}{b} \log \frac{c}{d}$ と書かないで $(a/b) \log (c/d)$ と書く。

[例]

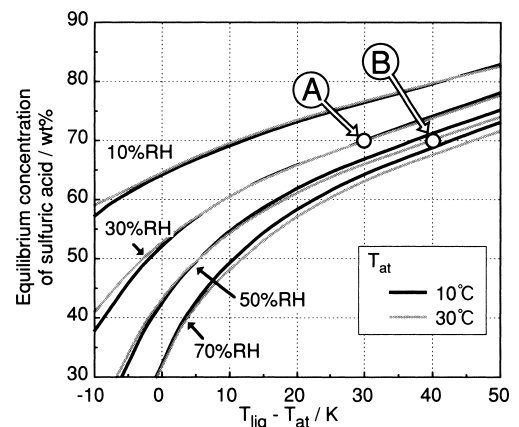


Fig.3 Equilibrium concentration of sulfuric acid plotted against temperature difference between liquid phase (T_{liq}) and atmosphere (T_{at}) at various relative humidities. (森他, *J. Jpn. Soc. Colour Mater.*, 71, 619 (1998))

- 2.7.2 単位記号の表記法は次のようにする。
 図中では例に示した通り「/」を付して表記する。
 [例] Time / s, Concentration / wt%

2.8 文献

- 2.8.1 文献の引用は引用箇所の肩に^{1,2,3-6)}などをつけ、文献を本文末にまとめて書き、脚注は*^{1,*2}の記号を用い、原稿用紙のそれぞれのページにまとめる。
- 2.8.2 文献(引用文献、参考文献)は次のように書く(この場合、日本人の著者名は姓名(フルネーム)を外国雑誌略号はChemical Abstractsを参考にして書く)。

[例]

雑 誌

- 1) 寺田 勝, 青木弘行: *J. Jpn. Soc. Colour Mater.*, **79**, 100 (2006).
- 2) 蒲田 稔: 防食技術, **27**, 469 (1978).
- 3) R. W. Hislop, P. L. McGinley : *J. Coat. Technol.*, **50** [642], 69 (1978).

単行本

- 3) 武内次夫, 柘植 新: “高分子の熱分解ガスクロマトグラフィー”, p.87, 化学同人 (1977).
- 4) N. I. Gaynes: “Testing of Organic Coatings”, p.92, Noyes Data Corp., (1977).

特 許

- 5) 特公昭 53-12345. 特開昭 53-45678.
 Ger. Offen 2,652,383. U.S.P., 3,839,253.

[外国雑誌略記号 例]

雑 誌 名	略 記 号
American Paint & Coatings Journal	<i>Am. Paint Coat. J.</i>
Chemical Abstracts	<i>Chem. Abstr.</i>
Deutsche Farben-Zeitschrift	<i>Dtsch. Farben-Z.</i>
Farbe und Lack	<i>Farbe Lack</i>
Industrial & Engineering Chemistry Research	<i>Ind. Eng. Chem. Res.</i>
Journal of Applied Polymer Science	<i>J. Appl. Polym. Sci.</i>
Journal of the Oil and Colour Chemists' Association	<i>J. Oil Colour Chem. Assoc.</i>
Modern Paint and Coatings	<i>Mod. Paint Coat.</i>

2.9 文字フォント、文字飾りの明記

イタリック体、ギリシャ体、ゴシック体、上付き、下付き添字、ルビ文字、記号などは原稿上にわかるように指定して提出する。

3. 原稿収録電子データの提出

3.1 J-STAGEによる投稿

投稿はJ-STAGEの電子投稿システムで受け付ける (<https://www.editorialmanager.com/shikizai/>)。まず、著者情報を入力し、IDとPass wordを決める。その後、投稿情報を入力し、投稿データ(本文、図、表、Figure Caption等)を転送する。転送の際に投稿データはすべてPDFファイルに自動的に変換される。

3.2 郵送による投稿

原稿の審査が終了した段階で、原則としてその原稿を収録した電子媒体(CD, DVD等)を提出する。その際、図・表は別ファイル(Excel, PowerPoint, Illustrator等)に入れる(図・表は取り込み可能な場合のみで可)。

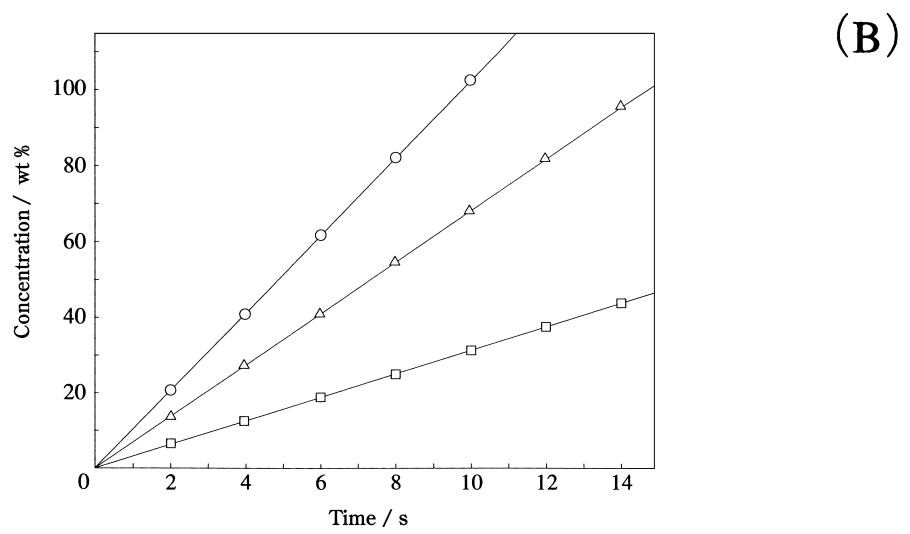
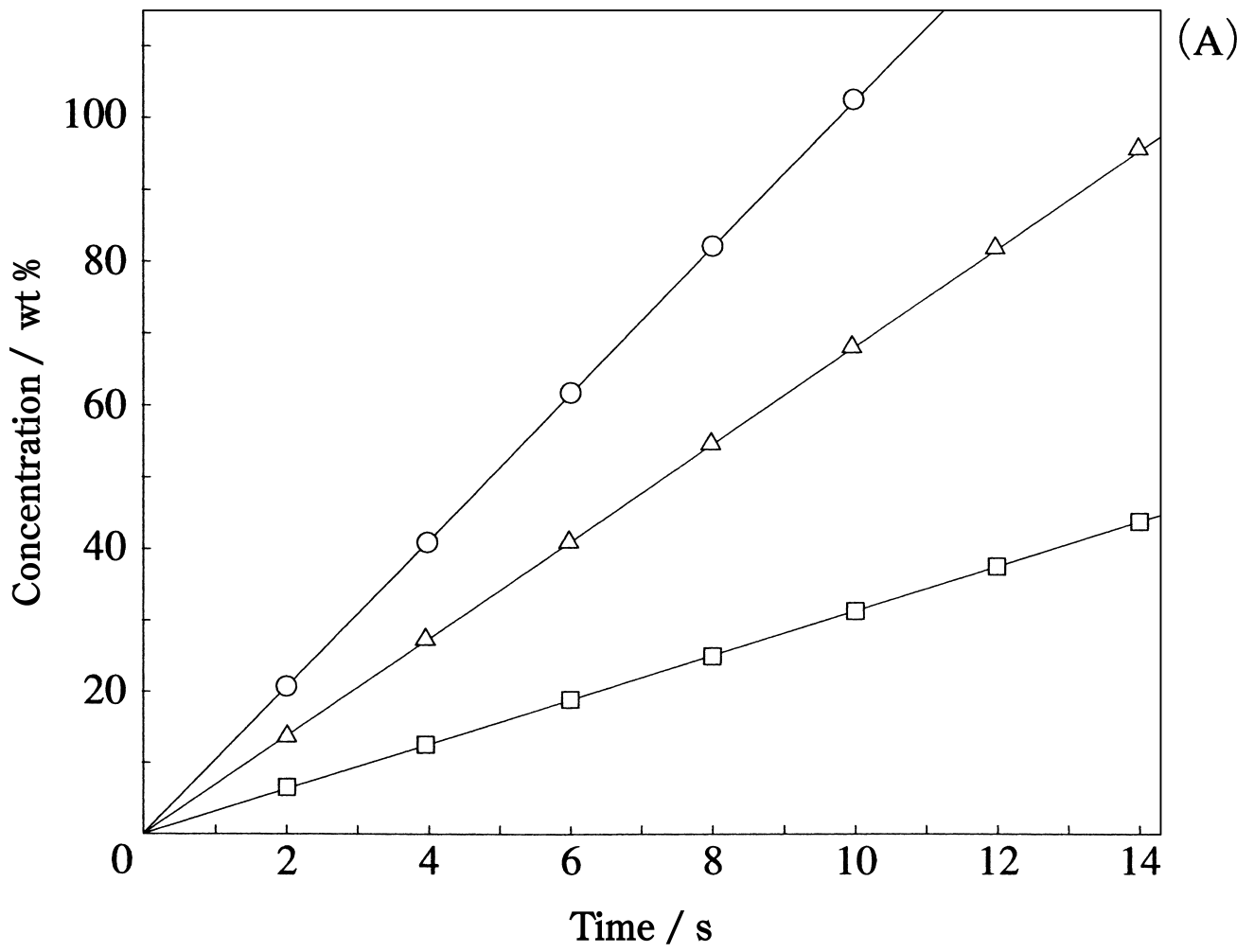
- (1) 本文データは、原則としてMS-Word等とするが、この形式で提出できない場合は、使用機種、ソフトを明記して提出する。
- (2) 文章中で使用する句読点は、和文では「,」「。」英文では「,」「.」とする。

4. 原稿送付先および問い合わせ先

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル(日本印刷内) 色材協会 編集室
 TEL 03-5911-8671 FAX 03-3971-1214 E-mail: shikizai@npc-tyo.com

図面原稿の書き方について

- (1) 次頁の図 (A) は縦軸 13 cm, 横軸 16 cm (この位の大きさが取り扱い, その他に好都合) の図面原稿である。そして (B) は (A) を 1/2 に縮尺した場合の一例を示したものである。すなわち 1/2 に縮尺すると図の面積は 1/4 になる。
- (2) たとえば (A) を 1/2 に縮尺希望の場合には図中の文字, 縦・横軸の数字などは大体 16 point 活字位の大きさに書かれる (文字は楷書でできるだけ丁寧に, 少し細目に黒インキ書きのこと) と (B) 図のように文字が 8 point の大きさとなり, 製版にも都合がよい。この場合, 文字が図に比較して過大であったり, 過小であったりすると印刷されたとき不体裁のものや, 小さすぎて見にくいことがあるので十分注意する。なお同一図中の文字, 縦, 横軸の数字, 符号などは必ず同一の大きさに書く。
- (3) 図面原稿の四隅は適宜余白をとっておく。
- (4) 図を換算する場合, 図 (A) を 1/2 に縮尺すれば, (印刷面 (B) 図), これが本紙 1 ページの約 1/6 に相当する。
- (5) 研究論文, 技術論文, 総合論文, ノート, 速報の図表中, 説明は英文で書く。



別刷り料金表（2011年1月1日改定）

社団法人 色材協会

(1) 別刷り料金表（報文・ノート・速報） 著者は必ず最低50部を購入する。

部数	ページ数								
	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50	25,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000
100	27,000	32,000	37,000	42,000	47,000	52,000	57,000	62,000	67,000
150	29,000	34,000	39,000	44,000	49,000	54,000	59,000	64,000	69,000
200	31,000	36,000	41,000	46,000	51,000	56,000	61,000	66,000	71,000
250	33,000	38,000	43,000	48,000	53,000	58,000	63,000	68,000	73,000
300	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000

注1：カラーページを含む特殊な印刷がある場合には、そのかかった経費を自己負担分として加算する。

注2：上記以外の料金は、同ページで50部増える毎に2,000円を加算する。また、同部数で1ページ増える毎に5,000円を加算する。

注3：50部以下の部数を希望する場合には、最低購入部数50部分の別刷り料金で対応する。

注4：上記の料金は会員料金であり、非会員に対しては上記料金に一律20,000円を加算する。

(2) 別刷り料金表（資料・解説・講座、企業探訪等の依頼原稿）

部数	ページ数								
	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50	12,000	14,000	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000
100	14,000	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000
150	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000
200	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000	34,000
250	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000	34,000	36,000
300	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000	34,000	36,000	38,000

注1：カラーページを含む特殊な印刷がある場合には、そのかかった経費を自己負担分として加算する。

注2：上記以外の料金は、同ページで50部増える毎に2,000円を加算する。また、同部数で1ページ増える毎に2,000円を加算する。

注3：50部以下の部数を希望する場合には、最低購入部数50部分の別刷り料金で対応する。

(3) 別刷り料金表（新製品・新技術紹介） 著者は原則50部を購入する。

		50部	100部	150部	200部	250部	300部	350部	400部
会員	1ページ	15,000	18,000	21,000	24,000	27,000	30,000	33,000	36,000
	2ページ	25,000	28,000	31,000	34,000	37,000	40,000	43,000	46,000

注1：カラーページを含む特殊な印刷がある場合には、そのかかった経費を自己負担分として加算する。

注2：上記以外の料金は、同ページで50部増える毎に3,000円を加算する。

注3：50部以下の部数を希望する場合には、最低購入部数50部分の別刷り料金で対応する。

注4：上記の料金は会員料金であり、非会員に対しては上記料金に一律50,000円を加算する。

色材協会誌投稿カード

希望投稿欄	決定掲載欄	刷り上がりページ	受領年月日	原稿 No.	
題目	和文				
	英文				
本文	枚	要旨	和文	枚	講演など既発表の有無
図表	枚		英文	枚	発表学会名
写真	枚	備考		年 月 日	
転載許諾が必要な図表 <input type="checkbox"/> あり (図表番号) <input type="checkbox"/> なし					
カラー掲載を希望する図表 (実費は投稿者負担) <input type="checkbox"/> あり (図表番号) <input type="checkbox"/> なし			J-STAGE 公開時、要旨下部にカラー掲載を希望する図表 (投稿者の費用負担なし、原則1点のみ) <input type="checkbox"/> あり (図表番号) <input type="checkbox"/> なし		
連名投稿者(連絡者に○印)					
○印	氏名	所属		所在地	
会員種別			会員番号		
連絡者	E-mail :		TEL.	FAX.	

送付先：〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル
 (日本印刷内) 社団法人色材協会 編集室
 TEL 03-5911-8671 FAX 03-3971-1214
 E-mail : shikizai@npc-tyo.com

Notice to Authors of Papers

(Revised 20th July 2011)

1. SCOPE of Journal of Japan Society of Colour Material

The Journal of Japan Society of Colour Material (JJSCM) solicits original and review papers dealing with the science, technology and application of colour materials (paints, pigments, printing inks, cosmetics, etc.), the science and technology of paint application as a means of surface processing, the science and technology of dispersion in vapor-liquid-solid systems and interface control and furthermore the use of colour materials in new applications.

2. Copyright

Copyright of papers is transferred to Japan Society of Colour Material (JSCM) when the manuscript is accepted for publication.

3. Manuscripts for Submission

3.1. JJSCM publishes studies of colour materials (paints, pigments, inks, cosmetics, etc.) and those of related subjects, under the six categories of Original Research Papers, Original Technical Papers, Integrated Papers, Notes, Rapid Communications, and Review Papers. The contents of manuscripts should not have been published previously nor submitted to another journal.

3.2. Manuscripts must be written in good English. Authors must submit their manuscripts using the secure online system at <https://www.editorialmanager.com/shikizai/>. Authors can also submit one original manuscript to : Editorial Committee, Japan Society of Colour Material, Higashi-Ikebukuro Center Bldg, 2F 4-41-24 Higashi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo, 170-0013, Japan (Phone: 81-3-5911-8671; Fax: 81-3-3971-1214; E-mail: shikizai@npc-tyo.com). After the manuscript is accepted for publication, the author is required to submit an electronic medium (CD-R, DVD, etc.) that contains the manuscript including figures and tables. The manuscript and the electronic medium will not be returned to the author.

3.3. The date of receipt of a manuscript is that of arrival at JSCM.

4. Original Research Papers and Original Technical Papers

Original Research Papers will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts contain creative and valuable facts or conclusions. Original Technical Papers will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts contain practically useful data, investigated phenomena or ideas.

4.1. An abstract of less than 200 words should precede each Original Paper. Japanese authors (and non-Japanese authors who are proficient in Japanese language) are required to furnish an additional abstract translated in Japanese. For non-Japanese authors who are not able to prepare an abstract in Japanese, the editorial committee will translate the abstract into Japanese.

4.2. Key words of up to 5 terms should be provided following the abstract.

4.3. Manuscripts should be reasonably subdivided into sections, such as Introduction, Theory, Experimental, Results, Discussion, and Conclusion.

4.4. Manuscripts should not exceed 5 printed pages (approximately 4,000 words including figures and tables).

5. Integrated Papers

Integrated Papers will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts organize and compare data and facts from numerous previously published sources to provide new insights and unified concepts are solicited.

5.1. An abstract of less than 200 words should precede each Integrated Paper. Japanese authors (and non-Japanese authors who are proficient in Japanese language) are required to furnish an additional abstract translated in Japanese. For non-Japanese authors who are not able to prepare an abstract in Japanese, the editorial committee will translate the abstract into Japanese.

5.2. Key words of up to 5 terms should be provided following the abstract.

5.3. Manuscripts should not exceed 6 printed pages (approximately, 5,000 words including figures and tables).

6. Notes

Notes will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts contain new facts, valuable data and discussions, new experimental devices, or technically valuable suggestions or opinions even if the study has not been completed.

6.1. Manuscripts should be written as stated in 4.1 through 4.3.

6.2. An abstract of less than 100 words is required to be attached as stated in 4.1.

6.3. Key words of up to 5 terms should be provided.

6.4. Manuscripts should not exceed 3 printed pages (approximately 2,500 words including figures and tables).

7. Rapid Communications

Rapid Communications will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts contain valuable conclusions with originality for rapid publication. Additional data may later be submitted as part of an Original Paper.

7.1. Manuscripts do not need to be sectioned, but the purpose (introduction), method, and conclusion (discussion) should be clearly distinguishable.

7.2. An abstract of less than 100 words is required to be attached as stated in 4.1.

7.3. Key words of up to 5 terms should be provided.

7.4. Manuscripts should not exceed 2 printed pages (approximately 1,500 words including figures and tables).

7.5. Rapid Communications will be published within 3 months of receipt.

8. Review Papers

Review Papers will be published when the editorial committee recognizes that manuscripts, concerning color materials, are written with a comprehensive point of view based on scientific basis with appropriate citations.

8.1. An abstract of less than 100 words is required to be attached as stated in 4.1.

8.2. Key words of up to 5 terms should be provided.

8.3. Manuscripts should not exceed 6 printed pages (approximately 5,000 words including figures and tables).

9. Preparation of Manuscripts

9.1. The title of the paper should reflect clearly and concisely the content of the manuscript.

9.2. Manuscripts should be reproduced on a high-quality printer on one side of 22 × 28 cm or A 4 format paper with double spacing, leaving margins of at least 2.5 cm on all sides.

9.3. The author is requested to indicate a category (Original Research Paper, Original Technical Paper, Integrated Paper, Note, Rapid Communication or Review Paper) at the top-left-hand side of the first page of the manuscript. The author might be asked to change the category by request of the editorial committee.

9.4. All pages of the manuscript should be numbered consecutively. The position of figures and tables in the text should be indicated on the margins of the manuscript.

9.5. References should be cited in the text with superscribed numerals such as 1,2) or 3-5), that are numbered consecutively in the order of their appearance. References should be compiled on a separate sheet(s) at the end of the manuscript. Abbreviations of journal titles should conform to the practices of Chemical Abstracts.

Footnotes, indicated as superscripts in the text such as *1, should be included on the same sheet of the text where they appear.

9.6. Nomenclature should conform to those recommended by Chemical Abstract Service or International Union of Pure and Applied Chemistry (IUPAC).

9.7. Symbols and units should be in agreement with SI units.

9.8. Each figure or table should be drawn or printed on a separate sheet. Figures should be carefully drawn on white plain paper or graph paper ruled in blue. The originals are preferable, but high-quality reproductions

are also acceptable. Each sheet of figures should be marked on the margin with the author's name and brief title of the paper. Figure captions are required to be printed together on a separate sheet (s). Table captions should be put on the top of the corresponding tables. Color reproduction of figures (including photographs) and tables is available at the author's cost.

9.9. When the editorial committee recognizes that the contribution is suitable for uploading to J-STAGE, the author can choose only one Figure (or photograph) from the contributed Figures as a graphical abstract. Moreover, the editorial committee will be responsible for the color proof-reading.

9.10. Manuscripts should be prepared in accordance with the "Guide for Authors in Preparation of Manuscripts of JJSCM" (written in Japanese) which can be obtained from JSCM. Those who are not familiar with the Japanese language should consult recent issues of JJSCM, of which samples (English papers) may also be provided on request.

10. Submission of Electronic Medium

When a manuscript is accepted for publication, the author is required to submit an electronic medium (CD-R, DVD, etc.) that contains all contents of the manuscript including figures and tables. As a software, MS-Word is preferred for text, while tables and figures should be prepared by Excel, PowerPoint, Illustrator, etc. as separate files. Title and author's name should be specified on the electronic medium.

11. Review of Manuscript and Resubmission

11.1. Acceptance or rejection of a submitted paper is decided by the editorial committee. The editorial committee may require the author to revise the manuscript.

11.2. After receipt, manuscripts must not be revised without permission of the editorial committee.

11.3. A manuscript returned to the author for revision must be sent back as soon as possible. If the manuscript is not returned within 2 months, the committee regards the manuscript to be withdrawn. In case of Rapid Communication, a manuscript must be returned within 1 week. The manuscript resubmitted after that is considered a new manuscript.

12. Citation of Figures and Tables

When figures and tables already published in other sources need to be reproduced, the author should request the permission of citation from the original author (s) and publisher (s). The author is also required to submit the following documents to JSCM. If the permission carries a fee, the author should be responsible for its payment.

- (1) List of cited figures and tables;
- (2) List of addresses of the authors and publishers who hold the copyright of the citation;
- (3) Copy of the release form granting the permission.

13. Proofs

Galley proofs are sent to the author for correction. No corrections other than printing errors are accepted. Authors are suggested to keep a copy of the manuscript for the convenience of the proofreading. Corrected proofs must be returned within two days by express mail, or the correction by the secretariat of JSCM will be the final one. Corrections should be indicated clearly on the margins with red pen.

14. Reprints

An author whose paper has been accepted is required to order at least 50 copies. The reprint charge differs according to membership status and manuscript type (Original Research Papers, Original Technical Papers, Integrated Papers, Notes and Rapid Communications, except for Review Paper and others). "Members" are defined as a member of the Japan Society of Colour Material (JSCM) or of overseas societies closely related to JSCM, such as CSI, FATIPEC, FSCT, OCCA, SCAA, SCANZ, and SLF. All others are treated as "non-members".

15. Corrections after Publication

If errors of consequence appear in the published paper, the correction will be made in the journal only when requested by the author. Corrections of non-printing errors, addition, or elimination cannot be undertaken unless the editorial committee approves the author's request.

1) Reprint Charge (Members)**(Japanese yen)**

Number of copies	Number of pages								
	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50	25,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000
100	27,000	32,000	37,000	42,000	47,000	52,000	57,000	62,000	67,000
150	29,000	34,000	39,000	44,000	49,000	54,000	59,000	64,000	69,000
200	31,000	36,000	41,000	46,000	51,000	56,000	61,000	66,000	71,000
250	33,000	38,000	43,000	48,000	53,000	58,000	63,000	68,000	73,000
300	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000

2) Reprint Charge (Non-Members)**(Japanese yen)**

Number of copies	Number of pages								
	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000
100	47,000	52,000	57,000	62,000	67,000	72,000	77,000	82,000	87,000
150	49,000	54,000	59,000	64,000	69,000	74,000	79,000	84,000	89,000
200	51,000	56,000	61,000	66,000	71,000	76,000	81,000	86,000	91,000
250	53,000	58,000	63,000	68,000	73,000	78,000	83,000	88,000	93,000
300	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000